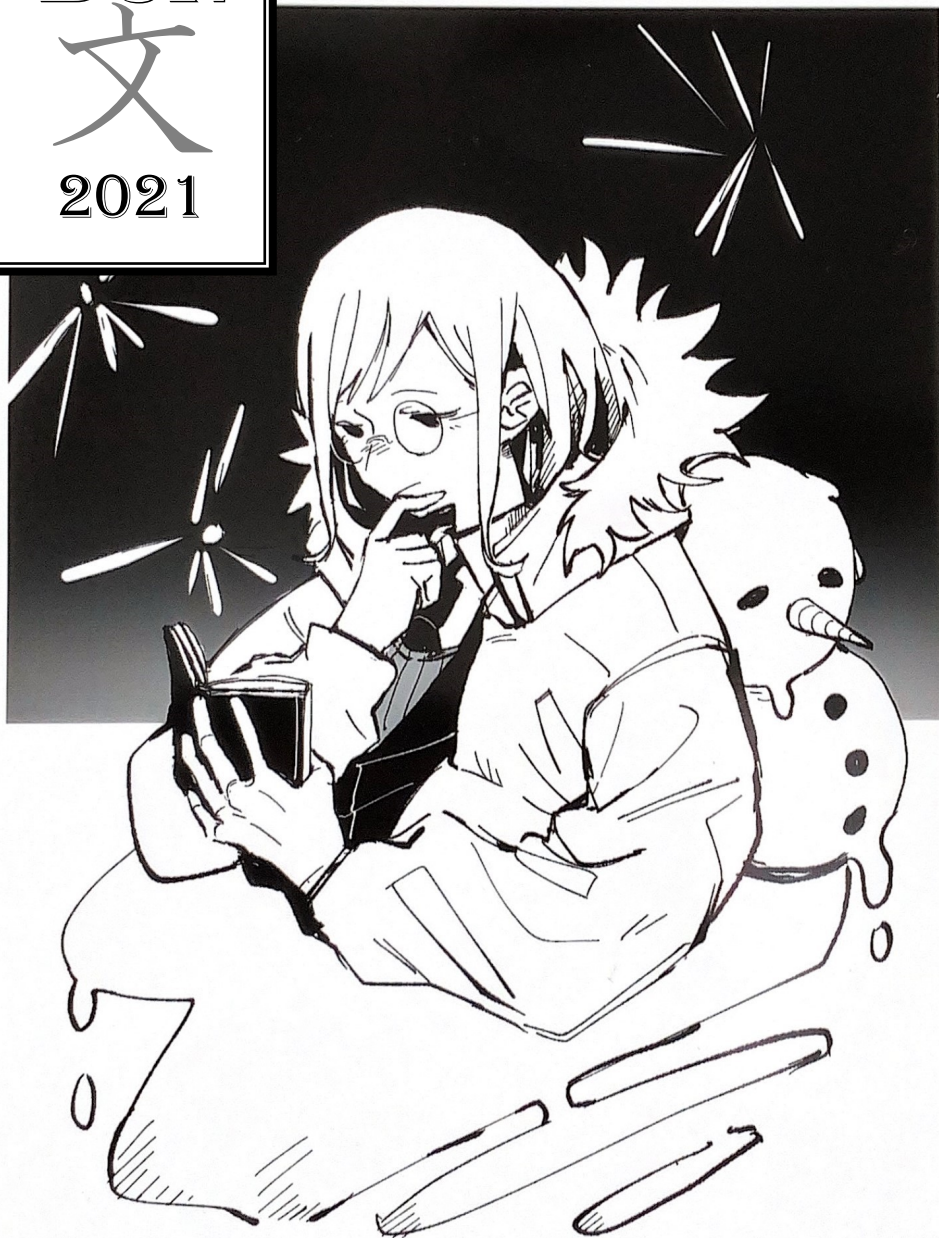


BUN
文
2021

先生がブンジ生に
すすめる1冊



東京都立国分寺高等学校図書館

【凡例】 書 名

著者、訳者など

先生からのひとこと

本の表紙

本の紹介文

請求記号
出版社
(叢書名)
配架場所

※請求記号は本の背に貼ってあるラベルの記号です。
図書館では、請求記号順に本が並んでいます。

※新書はすべて新書の棚（図書館に入ってすぐ右手）に
まとめて置いてあります。

とがったリーダーを育てる
東工大「リベラルアーツ教育」10年の軌跡

池上 彰, 上田 紀行,
伊藤 亜紗 著

文理を超えて学ぼう

とがったリーダー
を育てる

東工大「リベラルアーツ教育」10年の軌跡

池上 彰 上田 紀行

伊藤 亜紗



大学に入ると授業は、専門科目だけでなく一般教養科目といわれるものも取る。一般教養科目は軽く考えられていることが多い。東工大は、以前から理系の大学でありながら文系科目にも力を入れていた。さらにリベラルアーツ教育として改革が進められている。3年生で教養卒論を書いたり、教え合い・学び合いをしたりと大学の中では異例と言える。その軌跡を、池上氏は理系文系の教養を踏まえながら、伊藤氏は「とがる」こととコロナ禍での学びに触れながら、上田氏は改革の内輪話も含めて志について記している。最後には鼎談が行われている。東工大とは関係なくても、教養や学問について示唆される話が書かれている。

002-イ
中央公論新社
(中公新書ラクレ)
新書

自由になるための技術 リベラルアーツ

山口周 著

自由になる
ための技術
リベラルアーツ
山口周

中西陣政 出口治明 橋爪大三郎 平井正修
菊澤研宗 矢野和男 ヤマザキマリ

達人たちと掘り下げる
人類の叡智
いままでの「正解」が
通用しない時代を
突破するヒント
日立 EPO | 大塚評論館書籍化

002-ヤ
講談社
一般書架

これは山口氏が各界の著名人と対談したものをまとめたものである。この中で、立命館アジア太平洋大学学長の出口治明氏は「おいしい人生」に必要なものを料理のアナロジーで考えると、材料は知識に、上手な調理法は自分の頭で考える力と置き換えることができる。今はスマートフォンを活用すれば知識は簡単に手に入るので、考える力の差が人生の結果を分ける、といったことを語っている。ブンジ生は、知識はあるが、考えることを面倒がるものが多いと感じる。「考える力」を養ってほしいと強く思い、この本を紹介した次第である。



寝ながら学べる構造主義

内田樹 著

「現代文」の時間に出会う文章が理解しやすくなるかも。



なへんだ、
そんなことだったのか
文春新書

116-ウ
文藝春秋
(文春新書)
新書

教科書に収録されていた内田樹先生の文章の出典です。ソシュールの言語学をはじめとして、哲学に関しても、近代～現代に活躍した学者の思想を非常に平易な言葉で説明しているので、とても読みやすい本です。読んだ後は、現文の時間によく扱われる「近代」や「脱近代」に関する評論が理解しやすくなったと実感するのではないかと思います。図書室にもありました。ぜひどうぞ。

「利他」とは何か

伊藤 亜紗 編著 中島 岳志, 若松 英輔, 國分 功一郎, 磯崎 憲一郎 著

白でも黒でもない、グレーの思想



151-イ
集英社
(集英社新書)
新書

コロナ時代ー。他者と共に生きる術とは？

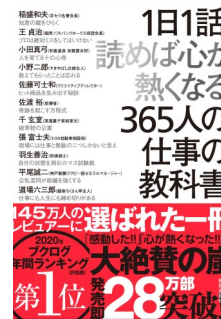
「利己」と「利他」、「能動態」と「受動態」、現代人にはその間の思想が必要なのでないかと考えました。「中動態から考える利他ー責任と帰責任」という章で描かれる発想がおもしろいなと思いました。



1日1話、読めば心が熱くなる365人仕事の教科書

藤尾 秀昭 監

毎日読んでいます。とても力をもらえる一冊だと思います。



159-フ
致知出版社
一般書架

365人のインタビューがまとめられた1冊です。

私は毎年正月に熊野に行くのですが10年ほど前、花巻東高校野球部が合宿に来ており同宿になったことがあります。廊下を通ると部屋に荷物が整然と並べられ衣服がきれいにたたまれていました。食堂では黙食。私が食堂に入ると全員が起立して挨拶してくれました。ここまで行き届いているのかと考えさせられた経験でした。今でこそ、大谷投手が球場でゴミを拾っている動画などがアップされています。365人の一人佐々木洋監督の菊池投手がトイレ掃除をしている話がある時の情景と重なり、なるほどと実感するのです。

君たちはどう生きるか ※漫画版もあります

吉野 源三郎 著

中学の時に社会科の先生にすすめられましたが、結局読まずに、大人になってから読みました。あの頃読んでいれば……？

君たちは
どう生きるか

吉野源三郎著



青 158-1
岩波文庫

159-ヨ
(岩波文庫)
一般書架

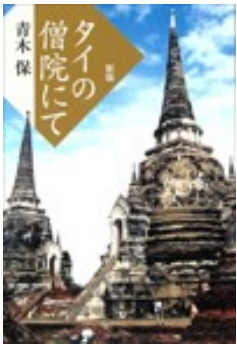
真面目な中学生「コペル君」が、友達とのトラブルで学校を休んでいる間に、「おじさん」が書いたノートを母から受けとった。そこには、立派な人間になるために必要なことが、「地動説」や「ナポレオン」などにも言及しつつ書かれていた。それを読みながら、コペル君は成長してゆく。作者の吉野源三郎は、「おじさん」を通して歴史上の人物や偉大な学説だけでなく人々の何気ない営（いとなみ）に対しても社会科学的分析を行いながら平易な文章で語っている。

予想できない様々なことがおこり、先の見えない現代に生きる我々の羅針盤になる書物である。

タイの僧院にて 新版

青木 保 著

異文化の中に飛び込んでみよう！



182-ア
青土社
一般書架

著者は、日本を代表する文化人類学者。1970年代、著者がタイの仏教文化、タイの社会を理解しようと、タイ人さながら自ら「出家」してバンコクの僧院で修行生活を送った体験記です。異文化を体験し、理解することの面白さ、難しさを感じるとともに、「仏教」に対するイメージが変わるかもしれません。

なお、同じ著者による『異文化理解』、『多文化世界』（ともに岩波新書）もオススメです。

トランクの中の日本
米従軍カメラマンの非公式記録

ジョー・オダネル 写真
ジェニファー・ホドリック聞き書き 平岡 豊子 訳

「言葉にできない」その先に、何を見つめるか

トランクの
中の日本

米従軍カメラマンの非公式記録

210.76-オ
小学館
絵本・写真集

一人の若いアメリカ人従軍カメラマンが撮影した、戦後日本の記録写真集です。広島・長崎をはじめとする終戦直後の光景には、強くショックを受けるものもあるかもしれません。心の一番奥底でじっとしていた感情を掘り起こされるような、何とも言えない気持ちになる人もいるかもしれません。高校2年、修学旅行先の広島で、私も同じ体験をしました。コロナ禍で簡単に広島や長崎には行けない今、この写真と文章たちが皆さんに訴えるものは大きいように思います。

写真に添えられたエピソードは日英両方で書かれていますので、読んでみてください。撮影者の心の揺らぎから、皆さんは何を感じるでしょうか。

東京の謎(ミステリー) この街をつくった先駆者たち

門井 慶喜 著

東京にまつわる全部で23の謎を解き明かします。



213.6-カ
文藝春秋
(文春新書)
新書

はじめに 「なぜ東京を『とうきょう』と読んではいけないのか」から始まり、
第1章（東京以前）
第1回 「なぜ源頼朝は橋のない隅田川を渡ったのか」
第2回 「なぜ大久保長安は青梅の山を掘ったのか」
～第21回までと続きます。
自称「地歴（日本史）」で、現在、青梅在住の私にとって、はじめから大変興味深い内容でした。
「第1回から第21回の『なぜ～なのか』」と「『はじめに』と『むすび』に『なぜ～なのか』」があるので、全部で23個の謎が解き明かされます。
生徒の皆さんが気になるなぜは？何でしょうか。

シュリーマン旅行記 清国・日本 ハインリッヒ・シュリーマン著
石井 和子／訳

「古代への情熱」と幕末のニッポン

皆さんご存じ、『古代への情熱』のシュリーマンが、お隣中国（清国）と日本に立ち寄った時の旅行記です。1865年の日本（幕末ですね）の様子が偏見なく描かれています（清国との対比もスゴイです）。

特に、シュリーマンが入国するときに対応した武士の件（くだり）が好きです。諦観と誇りをもって行動するさまは、まさに「武士」です。

読んでみて、日本って、いい国、と思ってしまいました。身近な土地では、八王子の描写もあります。

ぜひ、読んでみて下さい！！



291-シ
講談社
(講談社学術文庫)
一般書架

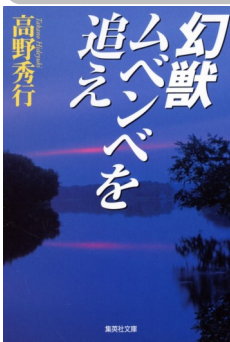
幻獣ムベンベを追え

高野 秀行 著

ハラハラドキドキ！笑えます。元気出ます。

「誰も行かないところへ行き、誰もやらないことをし、誰も書かない本を書く」がポリシーの高野秀行氏のデビュー作。アフリカ・コンゴの奥地へ幻獣ムベンベを探しに・・・本当に行ってしまう、その行動力！

20年以上前に社会人になってから偶然手に取ったはずですが、今でも内容の一部(〇〇〇を食べるシーンとか)を思い出せるくらいです。でも、もっと早く、高校生くらいのときに読んでおきたかったな～と思った一冊でもあります。読むときっと、何か面白そうなこと、新しいことをやってみたくくなりますよ。



294-夕
集英社
(集英社文庫)
一般書架

池上彰の世界の見方 中国 巨竜に振り回される世界

池上 彰 著

世の中のことがわかることは大事なこと。



私たちの生活は中国抜きでは成り立たなくなっています。新型コロナの影響で中国製品が入ってこなくなり、マスクがない！とか、便器がなくて新築住宅が完成しない！とか、さまざまところで中国に依存している経済を実感したものです。日本の防衛費が増えているのですが、それは中国の軍事力増強に対応したものです。そんな巨大な隣人中国ですが、ニュースで見聞きする中国の振る舞いは私たちにとってわからないことや不思議なことばかり。何なんだろうこの国は？と感じているあなた！池上彰氏がたいへんわかりやすく解説しています。

302.2-イ
小学館
一般書架

文学部の逆襲

波頭 亮 著

「文学部」は価値がないとは言わせない。

現代社会は、資本主義が暴走し新自由主義が跋扈している。そして民主主義も肥大化した資本に飲まれ、政治への買収が進み崩壊しつつある。一方ではそのような社会の中でAI技術が発達し、私たちのライフスタイルや社会構造を変え、文化や価値観そのものを刷新しようとしている。AIによる労働の代替がなされるであろう未来、私たちは何を拠り所（「大きな物語」）として生きていくのか。歴史・社会はすべて人間の叡智によって紡ぎ上げた、あるいは紡ぎ上げていく物語である。今こそ物語を読み解く「文学部」の出番である。

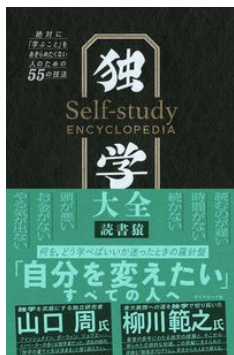


304-ハ
筑摩書房
(ちくま新書)
新書

独学大全

読書猿 著

学ぶことは楽しい。楽しく学ぶためのアドバイスにあふれています。



大ベストセラーなので知っている人も多いと思います。発売して1年以上たちますがまだ店頭で平積みされています。750ページを超えるこの本は「読破する」ものではありません。気が向いたとき適当なページを適当に読めばいいのです。とても気持ちが軽くなり、学んでみようかな、これならできそうだというアイディアにあふれています。ちょっと読んで良かったら手元に置いておくのもいいかも知れません。同著者のシリーズ『アイデア大全』『問題解決大全』もおススメです。

379-ト
ダイヤモンド社
一般書架

科学と仮説

ポアンカレ 著
伊藤 邦武 訳

「推理の本性は何であるか」。

科学と仮説

ポアンカレ 著

伊藤邦武 訳



数学と物理学が大きな転機を迎えていた20世紀初期、科学はますます複雑化していきます。従って従来の方法では対応しきれないという状況が生まれるが、本書は重要な仮説を科学的に考察した。アンリ・ポアンカレ(1854-1942)の著書『万有の天才』と併読した科学者が早稲田大学。

科学上の真理とは何か。「もし自然に固体というものが一つもなかったならば、幾何学も存在しなかったことであろう」「我々は確からしさを定義するのに確からしさをを用いている」。

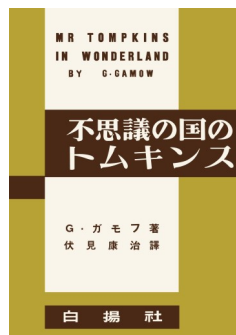


401-ホ
岩波書店
(岩波文庫)
一般書架

不思議の国のトムキンス

ジョージ・ガモフ 著
伏見 康治 訳

みんなに読んでもらって、物理の面白さを知ってほしい



著者はビッグバン理論の提唱者であるジョージ・ガモフ。平凡な銀行員のトムキンス氏の奇想天外な冒険物語である。光の速さが時速20kmという「のろい」街を旅行して、自転車に乗って走るだけでローレンツ収縮や時計の遅れといった相対論的效果を体験したり、量子定数の大きな世界では不確定性関係や物質の波動性が顕著に表れた不思議な世界を体験したりすることを通して、相対性理論や量子力学の世界を見せてくれる。高校生の時に読んで、物理学科への進学を決めた一因になった。

421-カ
白揚社
一般書架

すごすぎる天気の本

荒木 健太郎 著

空を知ろう



映画『天気の子』の気象監修もした気象学者が著したお天気入門の一冊。虹や雲のでき方、入道雲の成長の過程などがイラストで紹介されていてわかりやすくさらっと読めます。これを一読した後はきっと空を見上げるのが楽しくなりますよ。

451-ア
KADOKAWA
一般書架

もがいて、もがいて、古生物学者!! —みんなが恐竜博士になれるわけじゃないから—

木村 由莉 著

夢を叶えるには、まず叶えようとする



小学生のときに博覧会で運命的に恐竜と出会い、恐竜博士を目指してまっしぐらに進み続けた古生物学者の記録だ。恐竜を学ぶため、著者は必死に勉強を始める。高校で教授に手紙を出して進路の相談に乗ってもらい、大学付属校にしながら外部受験を選ぶ。実は、著者の現在の専門は恐竜ではなく、陸生哺乳類化石なのだが、それも恐竜にかかわり続けるために選んだ道。そして、その分野では世界的に有名な研究者となっている。プロの研究者になるのは、プロスポーツ選手と同じくらい難しい。でも、目指さないことには始まらない。爽快なサクセスストーリーとしても楽しめるので、ぜひ著者の情熱にふれ、自分の夢の燃料にしてほしい。

457-キ
ブックマン社
進路情報

すぐやる! 「行動力」を高める“科学的な”方法

菅原 洋平 著

「すぐやらない」のは「性格」や「やる気」の問題ではありません



「すぐやらない」のは「性格」や「やる気」の問題ではなく、脳が「やる気モード」になっていないから。脳はただの内臓であり、肉体と同じように、自分の力で自分が望む脳を作ることができます。その方法を、日常の簡単な行動を用いてこの本は教えてくれます。

「なんとなくスマホいじってたらもうこんな時間…」
「自分はやればできるんだけどなあ…」
「どうせ自分には無理だし…」という人は騙されたと思って読んでみてください。人は簡単な行動一つで変わります。

498.3-ス
文響社
一般書架

本当の自由を手に入れる お金の大学

両@リベ大学長 著

とりあえず読め!!



591-イ
朝日新聞出版
一般書架

正直に言おう。この本を見た時の第一印象は最悪だった。ダサすぎる表紙、軽すぎるタイトル、著者はインフルエンサーと怪しさが尋常じゃない。私は思わず「本当の自由って何やねん、こちとら哲学科で自由について鼻血がでる程勉強してんねんぞ? 軽々しく使っている言葉とちゃうわ!」と悪態をついた。しかしいざ読んでみて驚いた。圧倒的良書。現代人の痒い所にことごとく手が届いている。そのあまりのクオリティに私は「ひ、ひ、ひっしゅうう」と言いながら口から泡を吹き、膝から崩れ落ちた。お金についてちょっとでも関心がある人は、とにかく一度読んでみると良い。マジでオススメだ…!

ち。地球の運動について 第1集~第6集 (以下続巻)

魚豊 著

Heliocentric theory



If I have seen further it is by standing on the shoulders of giants.

726-ウ
小学館
コミック
※写真は1巻

3びきのかわいいオオカミ ユージーン・トリビザス 作 ヘレン・オクセンバリー 絵 こだまともこ 訳

難しいことを易しく伝えるのが極意です



絵本だからといってばかにしてはいけません。小さい頃、「3匹の子豚」を読んで「オオカミさんかわいそう」と思いませんか？オオカミさんにとって子豚さんはおいしいごちそうなのに…。でも、立場がひっくり返ったら…？？敵が襲ってくるなら、敵の持つ武器よりももっと強い防備をすればよい…？だから、子豚さんはレンガ造りの家を作ったけれど…そんなもの、もっと強い武器があればひとたまりもない！！

軍備増強合戦は不毛だということは、きっと4歳の子もだって分かることなんですよ。

726-オ
富山房
絵本・写真集

AIの遺電子 全8巻

山田 胡瓜 著

シンギュラリティ後の世界を想像できますか？



ヒューマノイドが人権を持ち人類と共存する世界が舞台のオムニバスストーリー。現在劇的に進歩しているAIの在り方や他者との関わり方などいろんな角度で考える材料を投げかけてくれます。今連載中の同シリーズ「Blue Age」もおすすめ。

726-ヤ
秋田書店
コミック
※写真は1巻

メメント・モリ

藤原 新也 著

劇物注意！1983年より読み継がれてきた万人受けし得ない名著
あなたに心の棘を残すかも？！



宮崎駿監督作品『天空の城ラピュタ』でバズる「バルス！」という呪文は、ご存じのように「崩壊」をもたらしますが、監督は「平和」の意を内包させたともいわれています。このような強い言葉には二律背反のイメージを想起させます。

この本はタイトルからして危険です。インドのほitori日常の風景と道ゆけば、《いのちを終えた物体》が太陽の下、堂々と漂う衝撃の写真と添えられた鮮烈な文章。思わず息をのむとき、生きている自分にハッとします。

コロナ禍、超衛生的な環境でSNSに親しみ、人生の船出の際に立つ皆さん、今のあなたにしか感じとれない何かがあります。それは尊いものです。もしかすると棘のように心に突き刺さるかもしれませんが、一生のうちに《宝物》に変わるかもしれません。

生きることは誰しも苦しい一面もありますが「ニンゲンは犬にくわれるほどに自由だ」と暗闇を突き破って「希望のようなもの」もしくはあなただけの「何か」に出会ってくれたら嬉しいです。

748-フ
三五館
絵本・写真集

英語の「なぜ？」に答える はじめての英語史 堀田 隆一 著

「素朴な疑問」の奥にある「本質」に触れる



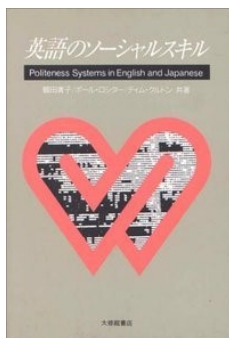
私は高校時代、英語を勉強していると納得のいかないことが多々あった。その度に、「これはそうだからそう！」「これは暗記してください！」この呪文を唱えられ英語から興味関心が薄れていった。実際このような疑問にこだわりだすときりがなく、学習効率も悪いので、次第に疑問を持たないようになっていく。しかし、このような素朴な疑問ほど実は本質的なものである。この本では「なぜfiveに対してfifthなのか？」「なぜ3単現に-sを付けるのか？」といったような普通ならあまり疑問に思わないような英語の謎を、英語史の観点から論じている。

830-ホ
研究社
一般書架

英語のソーシャルスキル

鶴田 庸子, ポール・ロシター, ティム・クルトン 著

さらに上級の英語の使い手を目指す人に



Will (Would) you...? Would you mind -ing? は、まさか断らないはずと考えられる相手（部下や店員、何かの申し込みに来店した顧客）に遠慮せずしかし丁寧に指示する表現だが、相手の親切心に期待して頼みごとをする場面では Can (Could) you...? Do you think you could...? などの言い方をし、最も丁寧なお願いは I was wondering if you could possibly... であるといった、なかなか教えてもらえないが大切な英語コミュニケーションの機微が満載で、何度読んでも発見がある（何度も読まないで飲み込めないが）。細かいことに神経が行き届いた表現を知りたい人に読んでほしい。魂は細部に宿る。

835-ツ
大修館書店
一般書架

「車掌の本分」

光村ライブラリー中学校編 2 所収

かんべ むさし 著

誇り



仕事（人生）の本質っていうのは、実はこういうことなのかも知れない。

908-ミ-2
光村図書出版
一般書架

蒼穹の昴 全4巻

浅田 次郎 著

歴史小説が好き、というならこれを読み



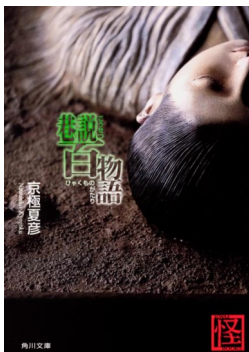
この本は昔、私が学習塾の教室長をしていた時に東京大学に現役合格した女の子が薦めてくれました。歴史上の人物から架空の人物まで入り乱れ、中国清朝の動乱をダイナミックに描いています。西太后って本当はこんな人だったの？とか、宦官ってそうなんだとか、新しい発見の連続。三国志みたいに戦争はないけれども、寝食を忘れて読み続けることができる。読破した後、その女の子に他に面白い本を紹介してほしいと頼んだら、その子は言った。「先生、もう一度最初から読むんですよ」

B913.6-ア
講談社
(講談社文庫)
文庫
※写真は1巻

巷説百物語

京極 夏彦 著

高校生のうちにいろんなジャンルの本を読んでおこう！



本は内容が大事だとわかっていますが、本屋さんで手に取る時その装丁に惹かれて買ってしまふことが多々あります。この本もその一つ。絵本百物語・桃山人夜話から小豆洗い（妖怪です）が当時の挿絵とともに開いた最初のページにあり、そこからこの小豆洗いがベースとなった話が続き1話で完結。次に白蔵主（妖怪です）そして舞首（妖怪です）……。その面白いこと面白いこと。このシリーズ5冊続きました。どの本も内容も装丁も素晴らしく、わが家の本棚のいい場所にドンとあります。もう終わったと思っていたのに11年を経てシリーズ最新刊がこの夏出ました。学校は文庫ですが内容も面白いので是非！

B913.6-キ
KADOKAWA
(角川文庫)
文庫

燃えよ剣 上・下

司馬 遼太郎 著

歴史小説で間違いないのはコレ。



不朽の名作です。新撰組の土方歳三の話。読んでない人は、是非。それ程、長くない。読みやすく、面白い。

B913.6-シ
新潮社
(新潮文庫)
文庫
※写真は上巻

後宮小説

酒見 賢一 著

奇想を楽しむ



架空の中国風の世界観、後宮の妃の座を田舎娘銀河が「三食昼寝付き」を目当てに狙うファンタジー小説。大嘘の中国古典風漢文などが面白い。日本ファンタジーノベル大賞の初回の大賞作。この賞出身の作家は個人的に好きな方が多いです。恩田陸、森見登美彦など。文学賞くくりでもぜひ読書の海に漕ぎ出してみてください。最近だと本屋大賞が人気ですね。

913.6-サ
新潮社
※写真は新潮文庫
本校所蔵は単行本

冷たい校舎の時は止まる 上・下

辻村 深月 著

最後まで一気に読みたいけど一気に読めない小説



大学受験を控えた高校3年生の冬、8人は雪の中、無人の校舎に閉じ込められる。8人以外が見当たらない中、学園祭で自殺したクラスメイトの名をどうしても思いだせない事に気が付く。その謎に迫っていく。

またこの作品は「四月は君の嘘」の新川直司による漫画もある。

B913.6-ア
講談社
(講談社文庫)
文庫
※写真は上巻

廻廊にて

辻 邦生 著

高校生の時に読み、印象深かった

No
Image

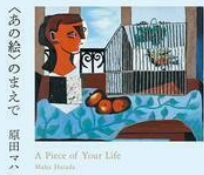
生きることと芸術の意味を模索しながら短い生涯を終えた亡命ロシア人画家の姿を美しく清冽な筆致で描いた作品。作者が青春期を過ごした旧制松本高校の近くにある上高地の清らかな流れを連想させます。暖かい部屋でゆっくりと過ごすのに良いのでは。

B913.6-ツ
新潮社
(新潮文庫)
※現在絶版

〈あの絵〉のまえで

原田 マハ 著

心に寄り添い、前進する勇気を与えてくれる一冊



コロナ禍の世界で、芸術は無力だという芸術家の無念の言葉を何度も見聞きした。いや、無力なんてとんでもない、絵は、音楽は、芸術はわたしたちの心に寄り添い、傷ついた心を慰め、いたわり、時には叱咤激励して沈んだまなざしを明日に向けてくれる。歩き出す勇気を与える。

この本は、有名な〈あの絵〉のまえで、一步を踏み出す主人公たちが描かれている。あるひとは就活に苦しみ、あるひとは最愛の息子を失い、あるひとは人生が思うようにならず悩んでいた。そんなある日、〈あの絵〉を知り、美術館へ〈あの絵〉を見に行く。キュレーターでもある作者の絵の解説と作者のあたたかいまなざしが相俟って〈あの絵〉に私たちも包まれるかのような読後感がある。

913.6-八
幻冬舎
一般書架

本日は、お日柄もよく

原田 マハ 著

言葉無くして、思いは伝わらない



スピーチライターという聞き馴染みのない職業を通して、「言葉」の力について考えさせられる物語。

B913.6-八
徳間書店
(徳間文庫)
文庫

本心

平野 啓一郎 著

親しい人、親、兄弟の本心について考えたことがありますか



「もう十分に生きた」といい、自由死という合法的な自らの死を選んだ母の本心を知るために、母のバーチャルフィギュアの制作を依頼する主人公朔也。彼は仮想の母に語り掛け母の死に至る心の真実をつかもうとする。そのうちに母の本心を探ろうとする自分自身の本心が見えてくる。親しい人の本心に触れることはあるのだろうか。

また、主人公朔也はアバターという職業に就いている。格差、職業差別といった社会現象も織り交ぜて「母」を作る朔也を描いている。

913.6-七
文藝春秋
一般書架

カラスの親指

道尾 秀介 著

とにかく、おもしろいから読んでみて！！



ドキドキしながら、一気に読んでしまえます。

B913.6-ミ
講談社
(講談社文庫)
文庫

レベル7

宮部 みゆき 著

読書の習慣をつけたい人に勧めます



B913.6-ミ
新潮社
(新潮文庫)
文庫

宮部先生の作品はクセもなく、非常に読みやすいものが多いです。それでいながら最初の方に打った布石、ストーリーは複雑に絡みながら中盤、終盤できっちり回収していきます。その中でも『レベル7』はそのキーワードがあらゆる話にしっかり結びついており、その中に出てくる人間の心理、心情も「人間そのもの」も描き切っているSFミステリーです。

大河の一滴

五木 寛之 著

10年ぶりに読み返してみました。読んでよかった。



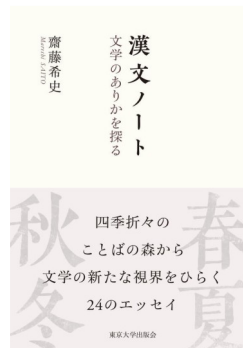
B914.6-イ
幻冬舎
(幻冬舎文庫)
文庫

五木寛之という作家の考え方、私は割と好きです。「マイナス思考だっていいじゃないか」「あきらめるところから始めよう」「人に寄り添い、共感する力があれば、それだけで立派に社会の役に立っている」…心が弱っているときに読むと、力をもらえる本です。10年後に読み返してみたら、また違った感想を持つかも。

漢文ノート

齋藤 希史 著

まずは、こういうことから始めてみたいかがでしょうか？



920-サ
東京大学出版会
一般書架

「ブンジ生は、漢文が弱い」なんてことを言われると国語の教員としては頭が痛い。そこで、句法テストや、「将飲酒」とか「猶不及」などの暗唱で、偏差値アップへ躍起になったりするのだ。しかし、考えてみると「好きこそもの上手なれ」で、漢文に興味を持ってもらうのが良いのではなかろうか。そこで本書。「年年歳歳」、「帰省」、「起承転結」などの言葉が四季との関わりで語られるエッセイで、身近なところから漢文に入っていく。遠くて、取っつきにくかった漢文が、気がついたら結構近いものになっていけばいいものだ。

十二夜

シェイクスピア 著
小津 次郎 訳

1600年頃に書かれた、ジェンダーについても考える作品です

十二夜

シェイクスピア作
小津次郎訳



日常生活の文脈を中心
に「大違い」の面白
さをもつたこの
喜劇には、初期の喜
劇にみられる軽薄は
無さがあめ、しる生
活者の苦悶を感じ
させる晩年の傑作と
もがって輝かしい地
帯が満ちあふれてい
る。いつの時代とこ
の國でも愛読されて
いる。シェイクスピア
1564 - 1616 喜劇
上演を主として入
意に仕上げられた劇
である。



赤 204g
岩波文庫

B932-シ
岩波書店
(岩波文庫)
文庫

イギリスの劇作家シェイクスピアといえば「ロミオとジュリエット」が有名ですが、この「十二夜」は喜劇の代表作とされています。主人公は女性ですが、亡くなった（と思った）兄そっくりに男装して、それをもとにドタバタが巻き起こります。劇の台本スタイルなので最初は読みにくいと思うかもしれませんが、登場人物はとて个性的で面白いですよ。いつかどこかのクラスが文化祭でシェイクスピアに挑戦してくれないかなあと期待を込めて……。

そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティ 著
青木 久恵 訳

最高のエンタテインメント！！



B933-ク
早川書房
(クリスティ文庫)
文庫

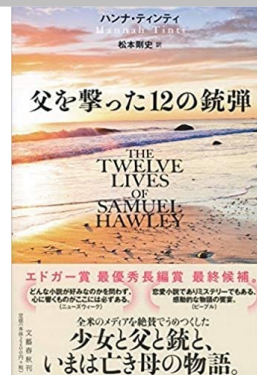
ここには、わたしがエンタテインメントに求めるものが全て揃っている。一晩で一気に読み切れる長さ。サスペンスにも満ちた展開。これほど人が次々に死んでいくのに、少しも残酷さや陰惨な印象を与えないこと。

「知的で粋な」娯楽です。

父を撃った12の銃弾

ハンナ・ティンティ 著
松本 剛史 訳

物語に浸ってその世界を全身で楽しんでみよう



933-テ
文藝春秋
一般書架

身体に11の銃痕を持つ父サミュエルとその娘ルーとが、流浪生活を終わらせて亡き母リリーの故郷に移り住み、新しい人生を暮らしていく物語。バイオレンスを含む父親の過去のノワールと、級友や恋人との関係に悩みつつも乗り越えていく娘の現在の成長物語とが交互に描かれ、サミュエルの過去やリリーの死の理由を明らかにしながら、次第に一つの物語へ収斂されていく。ロードノベル、青春小説、クライムノベル、ミステリ、ハードボイルド……と多様な側面を持ち、さまざまな楽しみ方のできる小説。エドガー賞最優秀長編賞最終候補。

Le Petit Prince ※訳書多数

サン＝テグジュペリ 著

Le plus important est invisible. (大切なものは目に見えない)



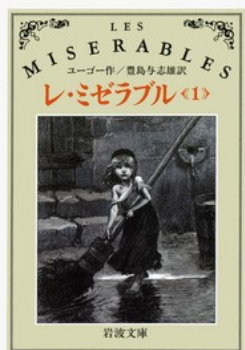
B953-サ
※写真は
『星の王子さま』
岩波書店(岩波文庫)
内藤 濯 訳

佐藤賢一『最終飛行』は、サン＝テグジュペリの最後の数年を描いている。米国での亡命生活中に、出版社の求めに応じて書いたのが、Le Petit Prince。絵も自分で描いた。こども向けのもものではあったが、妻との関係、人生で重ねた思い、そして戦争が作品に反映している。「最終飛行」で生涯を早く終えることがなかったならば、ノーベル文学賞を受けていただろう。が、そんなことは彼にとってはどうでもよいことなのだろう。「大切なものは目に見えない」とは言うものの、最後に彼の眼がとらえたものが、美しい地中海の光であったならば、と思う。

レ・ミゼラブル ※訳書多数

ヴィクトル=ユゴー 著

もっとも長生きした人間とは、最も年を経た人間のことでなく、人生を楽しんだ人間のことである。〈ルソー（フランスの思想家）〉



B953-ユ

※写真は

『レ・ミゼラブル1』
岩波書店(岩波文庫)
豊島 与志雄 訳
岩波文庫は全4巻

『レ・ミゼラブル』は19世紀半ば、フランスの作家ヴィクトル=ユゴーの小説です。日本では明治時代に黒岩涙香が翻訳した『ああ、無情』で知られています。

主人公ジャン=ヴァルジャンが一切れのパンを盗んで逮捕され、その後何度も脱獄し、そのたびに捕まり、19年間入獄生活を強いられました。

社会への憎悪を抱いて出獄、一夜の宿を借りた教会から銀器を盗んでしまうが、ミリエル司教の慈愛に触れて回心し、以後は愛と献身の生活を送り続ける物語です。

テレビ・映画・ミュージカル・漫画などで数多く取り扱われているが、それはほんの一部であり、全体を知るには全部を読破することにあると思うので、挑戦してみてください。

尚、『レ・ミゼラブル』とは、社会の底辺にいて、極貧状態にある哀れで惨めな人々のことです。

この冊子の著作権は都立国分寺高等学校図書館及び著者に帰属します。

本の表紙画像は、出版社の利用許諾を得ています。

本書の無断複写・複製・転載はご遠慮ください。

— BUN 2021 —

先生がブンジ生にすすめる一冊

2022年 2月10日 発行

編集 : 都立国分寺高等学校図書館

都立国分寺高等学校図書委員会

表紙 : 2年生

発行者 : 都立国分寺高等学校図書館